

入居企業紹介 その55

毎月、SIC に入居された企業をご紹介します。

SIC-1 323
ワイヤレスデザイン

無線コンサルティング 「ワイヤレスデザイン」



長谷 良裕さん

■代表プロフィール

ワイヤレスデザイン 代表 長谷 良裕(はせ よしひろ)さん。

自慢は、このセンター関係者で最も通勤距離が短いという相模原市西橋本在住の54歳。

無線通信について知識・経験・ネットワーク、どれをとっても日本有数のエキスパートである長谷さんの趣味はオーディオアンプ作り。秋葉原へもよく部品を調達しに行きます。

■起業しようと思ったきっかけは？

郵政省通信総合研究所(現情報通信研究機構)で20年以上、衛星通信システム・移動通信システム等の無線通信システムの研究開発・研究企画業務等に従事。その間に横浜国立大学助教授、霞が関の郵政本省勤務等も経験した後、(株)YOZANに転職。自ら考案した自治体向け地域情報配信システム事業の立ち上げや、無線呼出システムのインフラ全面更改と運営等に約6年間従事するなど、さまざまな無線システムの開発にかかわってきました。また、産学官の全セクターにかかわり、技術開発を中心に営業・教育・経営といった分野まで非常に幅広い仕事を経験してきました。

この夏に会社を退職したのをきっかけに、今後は、これまでの知識や経験を生かしてお客様が目指すシステム開発をサポートできるようにと、技術コンサルタントという形で独立しました。

■事業紹介

ワイヤレスデザインは無線システムの構築や運営に関するワンストップサービスを目指すコンサルティング。無線システムに関する技術コンサルティング、電波計測関連システム・ソフトウェアの開発・販売、各種測定作業・ソフト開発等の請負、無線関係研修講師など、無線に関することなら、どんなご相談でも引受けています。

【開発にかかわった主な無線システム】

- 自治体向け地域情報配信システム
- 首都圏無線呼出システム
- 成層圏無線中継システム
- ミリ波無線LANシステム
- 航空機衛星通信システム
- 陸上移動衛星通信システム 他多数

※自動車のキーレスエントリーの電池交換はしなくてもいいの？ 日本一のアンテナは？などホームページ上での「無線トリビア」も公開中！

■一番苦労していることは？

忘れっぽい性格のせいか、あまり苦労した記憶がないんです。まあ、現実的にお金の面ではいつも苦しいですね。

■これからの目標は？

無線ビジネス業界は「3年先は闇だ」とよく言われますが、過度なビジネス指向ではなく、公共的な分野での開発プロジェクトに関わって、今までの知識・経験をわずかでも社会に還元できればと思っています。



趣味の副業として真空管アンプの製作をされています。ご興味のある方は連絡ください。

真空管ではありませんが、電池駆動の8W+8Wのデジタル(D級)アンプです。通常の状態(平均出力1Wくらい)なら10時間以上は電池が持つ、超小型・超軽量・超エコロジーアンプです。ちなみに、電池は単三乾電池8本です。

連絡先: ワイヤレスデザイン

電話: 042-770-9380

mail: Hase@WirelessDesign.biz

HP : <http://www.WirelessDesign.biz/>

SICからのお知らせ

石川の東海道 道中記 第2回

—平成20年10月15日(水) 安倍川～島田—

第4回 THE☆もちもち 開催のご案内

恒例の「THE☆もちもち」を開催いたします。今回は、食べる事をメインにいたしますので、お昼ご飯にお餅をどうぞ。皆様のご参加をお待ちしています。

- 日時：12月18日(木) 11:00～14:00
- 場所：お食事 SIC-1 ロビー
餅つき SIC-1とSIC-2の連絡通路
- 参加費：お一人様 500円

※詳細につきましては、近日中に館内に掲示いたします。

お問合せ：SIC スタッフまで



安部川駅から方向を間違えたが、地元の親切な方に道案内をして頂き丸子(まりこ)宿へ入る。茅葺の茶屋丁子屋があり、名物のとろろ汁で精をつけて宇津ノ谷を目指したそうである。雨も上がり、しっとりとした空気に醸し出された宇津ノ谷は、閉ざされた山中の家並みが残され、古老の話も聞くことができ、これまでの道中では見たことのないタイムスリップした感じであった。

明治時代にできた幽霊がでるといふトンネルをくぐると、バイパスを走る車の音で現代に戻り岡部宿へ向かう。旅籠の一軒であった柏屋は歴史資料館になっている。平坦な街道を6k程進むと商店街が続き大きな宿場の藤枝となる。土地柄であるがお茶の間屋が多くみられ、社寺も多く、中でも大慶寺の日蓮が植えたと伝えられる「久遠の松」は見事な枝振りである。東海道本線に沿って島田宿を目指すも、帰る時間も迫ってきたので、一駅手前の六合にて本日は25kで上がりとした。

—平成20年11月2日(日) 島田～掛川—

8:10 六合駅を出発、国道1号線の道標は東京から206.5k。島田宿を抜けるといよいよ大井川になる。

当時は水深に応じた川札を購入、人の肩や輦台に乗り渡った様子が復元された川会所(かわかいしょ)に展示してある。1kの大井川橋を渡りきると金谷宿で、この日は大井川鉄道のSL運行日で、久しぶりに現物を見物できて大変得した気分。金谷坂・菊川坂の石畳(写真)を抜けると、箱根峠・鈴鹿峠とともに三大難所といわれた小夜の中山峠となる。お茶畑が広がり見晴らしは良いが上り下りは厳しい。七曲りの急坂を下りきると日坂(にっさか)宿で旅籠や高札場があった。掛川までは7.5kほどであったが思った以上に応えた一日でした。 つづく



SICの四季



ヒマラヤ杉の球果(松ぼっくり)：別名シーダーローズ。ヒマラヤ杉(ヒマラヤシーダー)のぼら(ローズ)の花のような松ぼっくり。この松ぼっくりは、花が散るようにバラバラと剥がれ落ち、先端の果鱗(シーダーローズ)が残る。**ところで**、SIC-1の入り口へ向う歩道にある街路樹は、知らず知らずの内にSICへと誘っている事をご存知でしょうか?設計者の想いがここから始まっている。知る人ぞ知るSIC-1のエントランスなのです。お気づきでしたか?

2008年12月

【今月の経営スケジュール(参考)】

経理：11月源泉税・地方税納付、賞与計算、年末調整、給与計算・試算表作成
社会保険・労働保険：賞与支払届

日	月	火	水	木	金	土
30	1 会議室2月分 予約受付開始	2	3	4	5	6 *SIC-2 エレベーター点検
7	8 *SIC-1 エレベーター点検	9 産学マッチング会	10 *SIC-1・2 警備センサー 作動点検	11	12 川上・川下 第2回交流会 SIC-1 フィルター清掃 SIC-2 ガラスクリーン	13 経営塾
14	15	16 SIC 大掃除	17	18 もちつき 	19 職場リーダー 養成塾 SIC-2 フィルター清掃	20
21	22	23 天皇誕生日	24	25	26 御用納め	27
28	29	30	31	1	2	3

SIC 年末年始休業 12月27日(土)～1月4日(日)

* エレベーター点検 SIC-1 10:00～11:00 SIC-2 9:30～12:00の間はご利用になれません。

* 警備センサー作動点検 SIC-1 9:30～12:00 SIC-2 13:00～16:00 各お部屋3分程度。お問い合わせは 生井(内線1116)まで

職業能力開発総合大学校 機械制御システム工学科 安田研究室 教授 安田 克彦氏



安田 克彦教授

我々の研究室では、ものづくり技術を溶接・接合の分野から捉え、現場に即対応可能な各種材料の溶接や高品質溶接、高効率溶接の施工法の開発を行っております。

特に、最近では、ものづくりの中心に「人」を置き、

- ①人が得意とする部分は人が、逆に人が不得意で機械が得意とする部分は機械が行い、両者が協調して行う写真のような「人と機械の協調溶接法」
 - ②人の技を解析し、ロボット機能に適用可能なデータをロボットのティーチング段階で利用するロボット溶接の施工法
- などの方法で溶接の高品質化、高効率化を実現させています。



1) 各種材料の溶接法の開発

従来から現場で広く利用されている各種のアーク溶接法を使用し、一般的な炭素鋼からステンレス、アルミ、チタン、マグネシウム材料まで、各材料の溶融特性や溶接継手の変形特性などを独自の方法で解析し、高品質の溶接が比較的容易に得られる方法を確立しています。

2) 高品質化溶接法の開発

特に、薄板溶接に着目、溶接した材料を成形する「溶接と板金加工の複合加工」を進め、各材料の用途目的に適した溶接法を提案しています。最近では、高付加価値製品となる密閉容器の製作における溶接の開始端から終端までの溶け込みを均一に保つ溶接法を数種の方法で可能としています。

3) 高効率化溶接法の開発

溶接の高効率化を目的に、溶接の高速化や深溶け込み溶接を目指し、①熱源の複合化、②アーク熱源の制御、③溶接施工面の工夫、などで可能にしています。特に、深溶け込み溶接に関しては、開先の形状やティグ溶接用電極先端の形状設定など、従来はほとんど見過ごされてきた手軽な要素をうまく工夫し、組み合わせることで十分な成果の得られることを見出しています。

4) 薄板溶接

各種材料の中でも0.2~1.6mmの薄板材の溶接に着目、ハンドレーザを効果的に利用する方法や制御したティグやプラズマ熱源を使用する方法を検討しています。さらに、これら作業をできるだけ技能レスの方法で行える簡便な治工具の開発などにもトライアルしています。加えて、溶接を工夫することで、板金加工の限界に挑戦する試みなども行っています。

職業能力開発総合大学校ホームページ
<http://www.uitec.ehdo.go.jp/>

ご案内

Nansei Matching 産学マッチング会

■日時：平成20年12月9日(火) 15:00~19:00

■場所：サン・エールさがみはら 第1研修室

■定員：40名 入場無料

○職業能力開発総合大学校

『屋上緑化の熱的効果に関する研究』
建築システム工学科 環境工学・設備工学研究室
橋本 幸博准教授

○東京工業高等専門学校

『東京高専における産学連携 事例紹介』
地域連携テクノセンター 佐々木 桂一専任助教

○神奈川工科大学

『アクティブRFIDの受信強度変化を利用した
状態情報共有システム』
情報工学科 田中 博教授、五百蔵 重典准教授

○サレジオ工業高等専門学校

『GISをもっと利用しよう！簡単な商圈分析を例題として』
情報工学科 島田 陽一准教授
先着順で個別相談を受付けています。

【お申込み・お問い合わせ先】担当 稲垣(内線2003)

川上・川下ネットワーク 構築事業 in さがみはら 第2回交流会

■日時：平成20年12月12日(金) 10:00~18:30

■場所：サン・エールさがみはら ホール・第1研修室

■入場無料

- 微生物による水素発酵とその応用 **北里大学**
 - 半導体製造装置分野から燃料電池など次世代エネルギー分野への挑戦 **株式会社テクノメイト**
 - 熟成オゾン水生成システムと冷温水蓄熱技術を活用した環境負荷軽減システムの開発について **株式会社リガルジョイント**
 - モバイル用燃料電池など次世代エネルギーシステム分野に挑戦—環境に配慮した部品・素材開発への取り組みについて— **株式会社ニックス**
 - 当社電磁ポンプの燃料電池や環境機器への適用事例のご紹介 **日本コントロール工業株式会社**
 - 究極のエコ・カー 燃料電池自動車と電気自動車開発の現状 **武蔵工業大学**
- 各講演終了後の個別面談を受付けています。

【お申込み・お問い合わせ先】担当 永井(内線2002)

※詳しくはSICホームページをご覧ください。

【シリーズ企画 企業支援の現場から・・・『人材採用のポイント』3回連続】

前号では、【就職活動の実際(転職者編)】と題して、『転職者は、自分と企業との関係を重視した就職活動を行っていることをお伝えしました。第二回目の今回は【就職活動の実際(大学生編)】をお送りします。

SIC インキュベーションマネージャー
上野 泰和 (社会保険労務士有資格者)

第2回 就職活動の実際(大学生編)

ある大学の就職支援者は、昨今の就職活動に奔走する学生を「就職活動というイベントに参加させられている」と表現していました。そのことを裏付けるように、学生の90%以上が合同セミナーや企業説明会(大手企業による自社単独開催や就職情報提供会社主催など)に参加し、その平均は6回以上となっています((株)リクルート調査結果)。そのセミナーや説明会に参加しないことには、就職活動のスタートラインに立つことができないのですから、その割合の高さや回数の多さは、必然なのでしょう。そのため、学生は、セミナーや説明会に関する情報収集やエントリーなどの作業に膨大な時間を費やしています。

では、学生がセミナーや説明会の情報をどのように収集しているかということ、ほとんどの学生が就職情報サイト(リクナビ、マイナビ等)からです。そこで、どのような企業が採用を計画しているかを知り、企業のホームページを閲覧し、セミナーや説明会に応募するかどうかを決定しています。

学生の就職活動の対象の大部分は大手企業や中堅企業であり、中小企業も含めて就職活動を行っている学生は、少数派です。いわゆる“大企業志向”です。しかし、

(株)毎日コミュニケーションズの調査結果では、「何があんでも大手」は約10%、「ヤリガイのある仕事ができるのであれば、中堅・中小企業でもよい」は約39%と、半数近い学生は、“大企業志向”でないことがわかります。世間で言われているほど“大企業志向”は強くないのです。

以前、ある大学の教授から、学生がどのように就職活動を進めているのかについて話を伺いました。「大学では、2年次から就職活動に向けたガイダンスやセミナーを行い、早期に就職活動を始める必要性や重要性を説明している。その結果、多くの学生は、3年の秋頃から就職活動をスタートさせるが、その時に提供されている採用情報のほとんどが大企業のものばかりです。そしてまた、最近の学生は、地元志向が強くなってきています。」とのことでした。

これらのことから、大学生の就職活動における問題は「地元中小企業に関する情報が少ない」「学生自身が明確な目的意識をもって就職活動に臨んでおらず、その結果、企業規模や知名度で企業を選択している」ことが分かります。

次回は、転職者や新卒者に伝えるべき採用情報は何か、その情報をどのように伝えるかなどについてみていきたいと思います。

第3回へつづく



相模原駅北口
権藤徹志さん画

山本のめし屋レポート

インドの恵み

橋本駅から徒歩10分の本格インド料理のお店を紹介します。

インドの高級ホテルで腕をふるったシェフが厨房に立つ本格派。

今回食べたのは「マトンとほうれん草のカレー」、「野菜のカレー」、「ナン」、「シークカバブ」でした。

本格的なインド料理やカレーをほとんど食べたことがないのですが食べやすくおいしくいただきました。

店内も明るくカジュアルでいい雰囲気です。

お店の方もとても感じが良かったです。

ご家族やカップルでどうぞ。



カレーは二十数種類から選ぶ事ができて、辛さもマイルドから大辛まで。

橋本駅北口
スーパーアルブスの横を過ぎて京王相模原線の高架下をくぐって一つ目の信号近くにあります。

■住所 相模原市東橋本1丁目21-12 ロードサイドヒルズ1F ■電話 042-860-7645 ■不定休 ■営業時間 11:00 ~ 23:00(L.O.22:30)

編集後記

12月、和風名月では皆様ご存知の『師走』。地球温暖化も手伝ってか、旧暦は現在の季節とずれがあるようです。でも、師走に関してはずれはありません。慌ただしく走るのではなく、この一年を静かに振り返る、そんな1年に来年はしたい!。さて、SICかわらばんの地域版を創刊いたしました。両かわらばんについてのご意見・ご感想をお待ちしております。

★ご意見・ご感想をお待ちしています。(株)さがみはら産業創造センター(SIC) 〒229-1131 相模原市西橋本5-4-21 電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ: <http://www.sic-sagamihara.jp> E-mail: koho@sic-sagamihara.jp